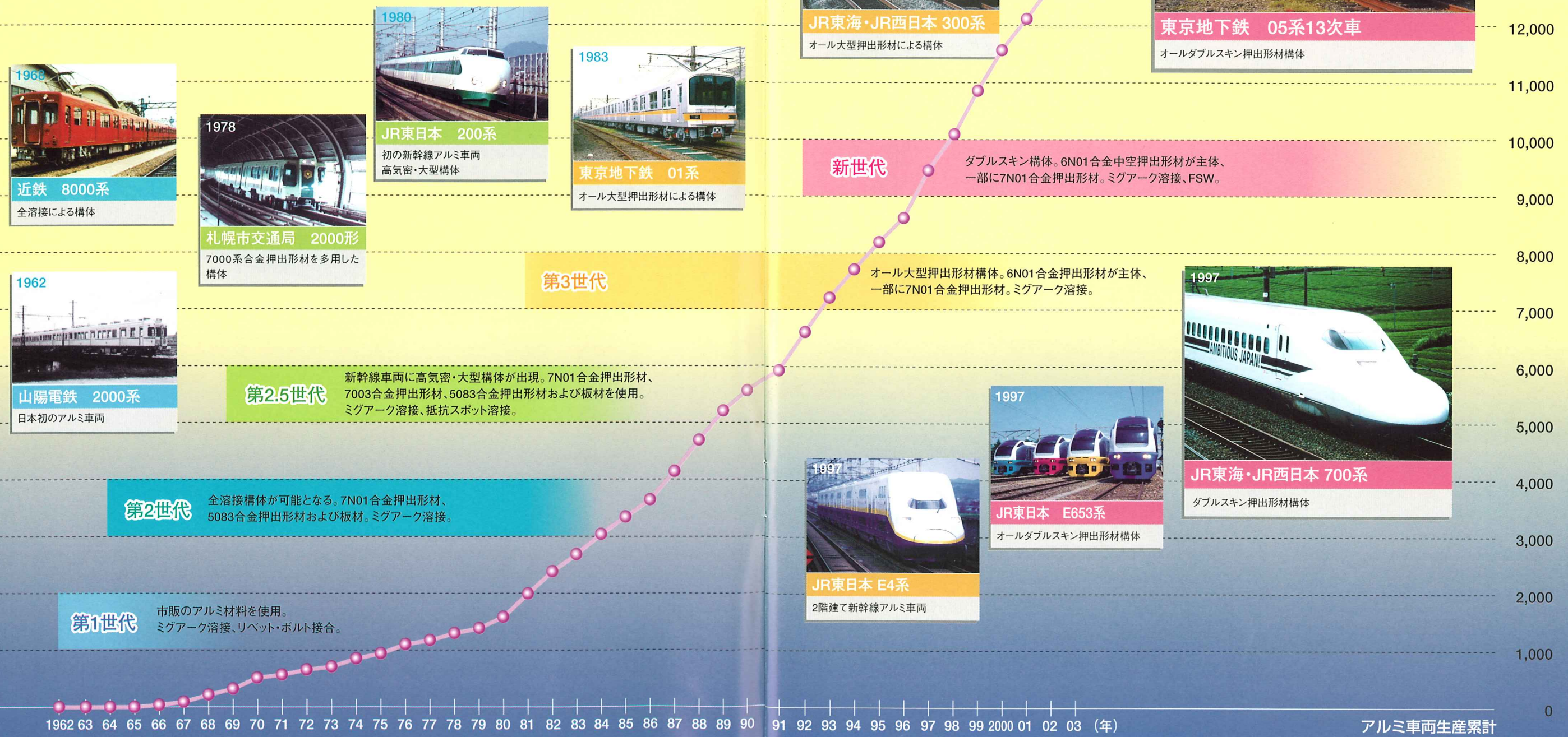


# 技術とともに進歩するアルミ車両

1962(昭和37)年に日本で初めてのアルミ車両が登場して以来、アルミニウムの軽量性、耐食性、リサイクル性が鉄道関係者に広く認識され、通勤車両から新幹線車両まで、幅広くアルミ車両が普及してきました。

最近では、ダブルスキン構造やアルミニウムに最適な摩擦攪拌接合(FSW)によって、生産性が向上し、コストダウンが可能となり、安全性を向上した構成も可能になりました。

これらの優れた特性を生かし、アルミ車両は21世紀の鉄道車両をリードしていきます。



アルミ車両生産累計